

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-20℃ ～ +125℃	保存温度範囲	-20℃ ～ +85℃	
	電 圧	AC 200 V , DC 250 V			
	電 流	3 A	適合ケーブル	△ (φ5.7～φ6.5)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタにDC 1Aで測定する。(MIL-C-2316)	20mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。(MIL-STD-1344 3003)	1000MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 900Vの電圧を 1 分間印加する。 (MIL-STD-1344 3001)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	φ0.736 ⁰ _{-0.003} 鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.2N以上	○	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。ロック機構を含む。	挿抜力 50N以下	○	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。 (MIL-C-5015 4.6.12.2)	単位コネクタの接触抵抗: 30mΩ以下	○	—
性 能	耐振性	周波数 10～ 500 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 98m/s ² で3方向各3h試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。 (MIL-STD-1344 方法2004条件E)	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +125℃ → 常温 時間30 → 10～15 → 30 → 10～15 分 を5サイクル試験する。(MIL-C-5015 4.6.4)	①絶縁抵抗: 500MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	定常状態の耐湿性	温度71℃, 湿度95%中に336時間放置する。 (MIL-C-5015 4.6.10)	①絶縁抵抗: 50MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐腐食性	SO ₂ 670ppm 40℃に8時間, 18～28℃に 16時間放置する。(DIN 50018)	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをカン合した状態で 水深1mに0.5時間放置する。(JIS B 6015)	コネクタ内部に浸水が無いこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをカン合した状態で エア一圧40kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の漏れがないこと	○	—
	耐油性	適合コネクタをカ合した状態で切削油を毎時0.5%の割合で48時間滴下する。(JIS B 6015)	コネクタ内部に油の浸入の無きこと	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で3～4秒間ソルダ・ホット部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。 (MIL-STD-1344, 方法3001 条件B)	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
1	1	DIS-C-001334	DS. MATSUNE	SU. OBARA	09.06.15
備考			承認	MO. SATOH	08.02.14
			検 図	HY. KOBAYASHI	08.02.14
			担 当	DS. MATSUNE	08.02.14
			製 図	HN. TANAKA	08.01.09
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-115190-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR34B-12WPD-10S	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL134-0026-0-00	△ 1/1